

! 全ての製品を取付け後、正常に作動しているか必ず確認して下さい。
 電気錠は分解しないで下さい。また、投げたり、落としたり等のショックを与えないで下さい。(電気錠が正常に動作しなくなる場合があります。)
 取付説明書に従って正確に取付をおこなって下さい。ネジ締付不良、誤った取り付けの場合は、故障の原因となります。

1 扉、枠切欠き

切欠き図に従って、扉、枠に切欠きをしてください。

! 対震ストライクの場合は、別途ご相談ください。

2 結線

扉の配線とケースのコネクターを接続してください。

! 扉の配線はケースの取り出しができる様に、30cm程度余裕を見てください。

3 錠ケース取付け

1. ラッチボルト、トリガーを扉の勝手に合わせてください。

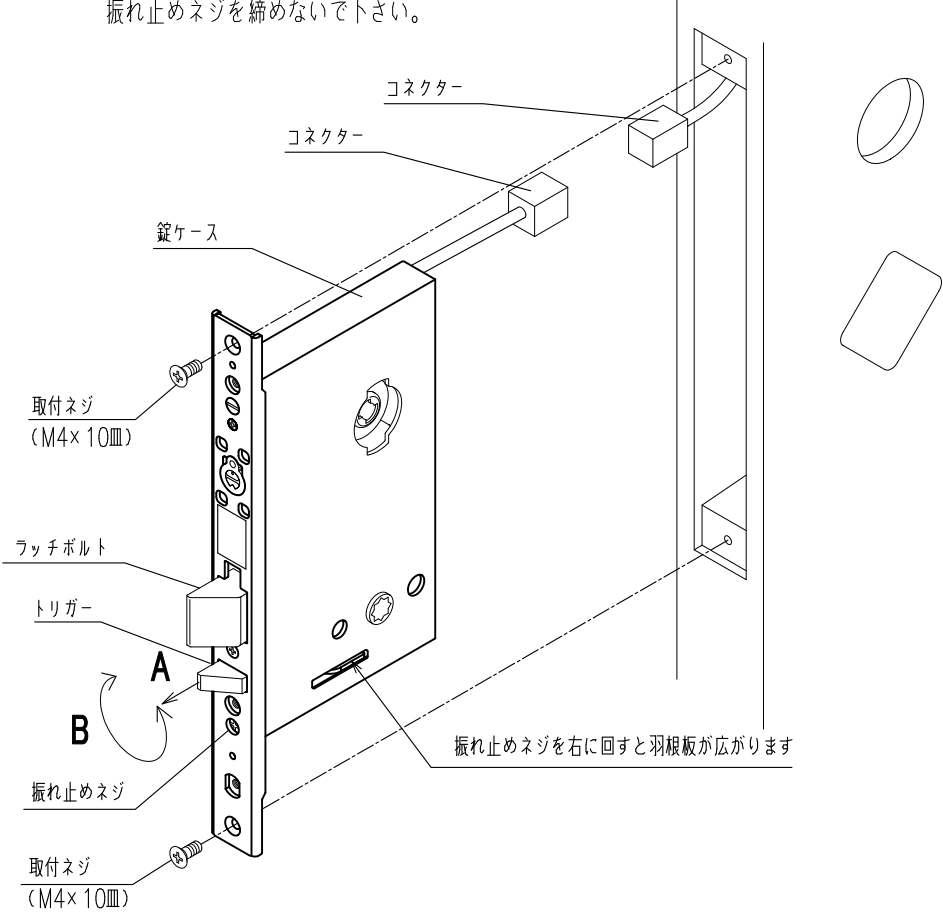
【方法】 ラッチボルトとトリガーを指で同時に押し込み、ラッチボルトのみを離せばラッチボルトが長く突出します。ラッチボルトを回して勝手に合わせます。トリガーは、A方向へ引張り、B回転方向にトリガーを回して勝手に合わせます。

2. フロントを外し、錠ケースを取付ネジで扉に固定してください。

! 取付時、錠ケースを扉内へ落下しないようにご注意ください。

3. 振れ止めネジを右に回して、錠ケースの振れを止めてください。

! ケースが扉の厚さ方向に対して中心に取り付かない(偏芯している)場合は、振れ止めを締めるとケースが振れてしまい、作動を妨げる原因となる為、振れ止めネジを締めないで下さい。

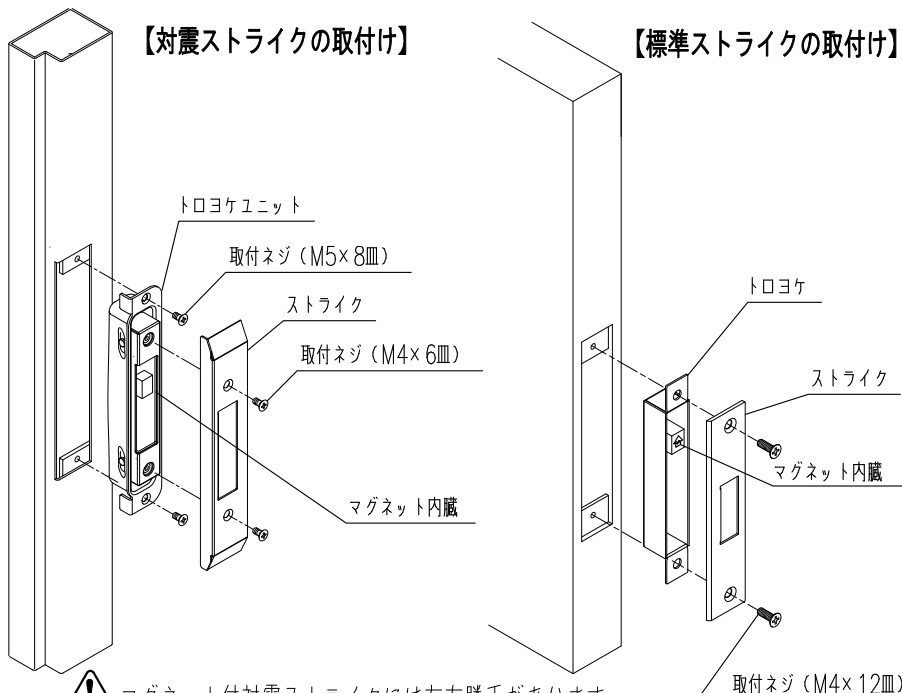


3 ストライクの取付け

【対震ストライクの場合】 トロヨケユニット、ストライクをそれぞれの取付ネジで取り付けて下さい。

【標準ストライクの場合】 トロヨケとストライクを取付ネジで取付けて下さい。

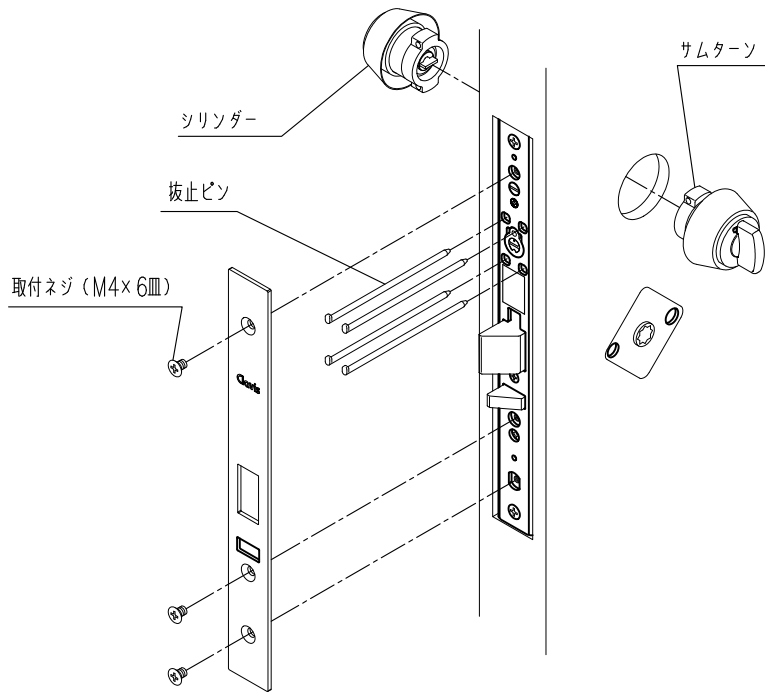
! トロヨケは必ずマグネットが上向きになるように取り付けて下さい。



! マグネット付対震ストライクには左右勝手があります。取り付ける際は、扉の左右勝手をご確認願います。(本図は、右勝手の場合を示します。)

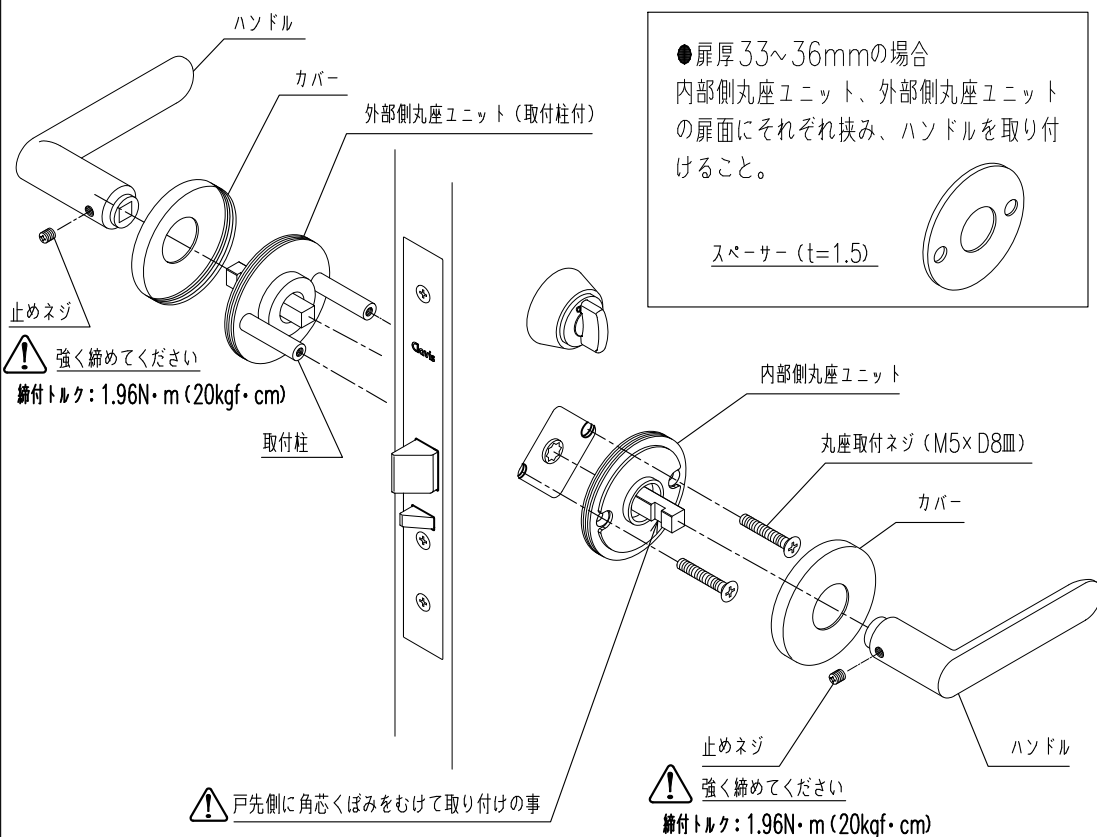
4 シリンダー・サムターンの取付け

1. 「Clavis」刻印が見えるようにシリンダー、サムターンを錠ケースに差し込み、それぞれを抜止ピンで固定して下さい。
2. フロントを取付ネジで取り付けてください。



5 丸座・レバーハンドル取付け

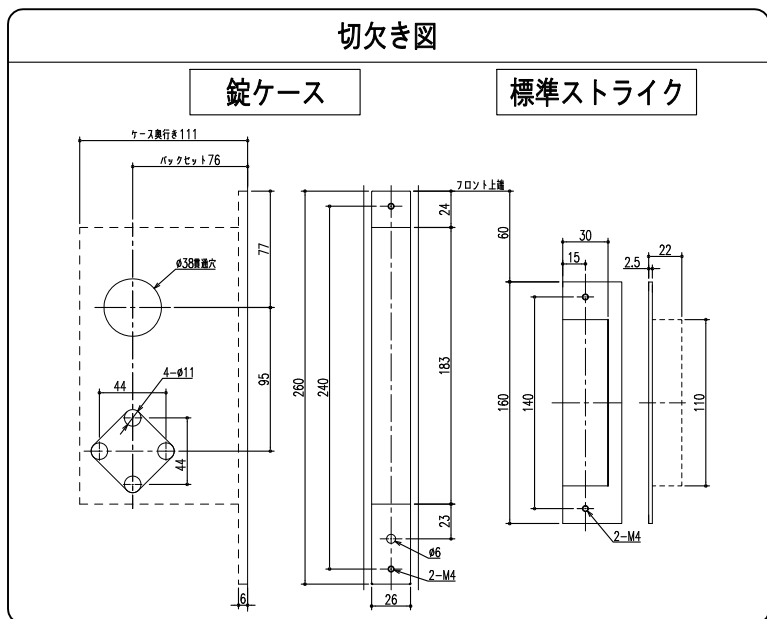
1. 取付柱が付いている外部側丸座ユニットを必ず室外側に取り付けて下さい。
2. 角芯部のくぼみ(凹み)側を戸先面にくるように、丸座ユニットを挿入し、丸座取付ネジで固定します。
3. 内外共にカバーを取り付けて、ハンドルを角芯に差し込み、止めネジを締め込んで下さい。



● 扉厚33~36mmの場合
 内部側丸座ユニット、外部側丸座ユニットの扉面にそれぞれ挟み、ハンドルを取り付けること。
 スペース (t=1.5)

! 強く締めてください
 締付トルク: 1.96N・m (20kgf・cm)

! 強く締めてください
 締付トルク: 1.96N・m (20kgf・cm)



通電時解錠型電気錠AEN, AENP/通電時施錠型電気錠AEE, AENP 取扱説明書

【工事店様へのお願い】

取付・調整完了後、本書をお客様にお渡しください。

A. 施解錠操作

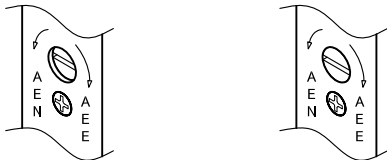
電氣的施解錠	解錠	(AEN/AENP) 通電中は解錠状態となります。 (AEE/AEEP) 無通電時は解錠状態となります。	ハンドルを回し扉を開く事ができます。
	施錠	(AEN/AENP) 無通電時、扉を閉めれば自動的に施錠となります。 (AEE/AEEP) 通電時、扉を閉めれば自動的に施錠となります。	ハンドルがロックされて扉を開くことができなくなります。 ※アンチパニック (AENP/AEEP) の場合は、アンチパニック設定側のみハンドル操作により解錠・開扉ができます。
機械的施解錠	解錠	サムターンを解錠方向 (吊元側) へ60°回転する (もしくは、キーを解錠方向へ60°回転する) と解錠します。 注: サムターンもしくはキーで解錠させると、サムターンおよびキーでは、元に戻せませんので右覧を参照願います。	ハンドルを回し扉を開く事ができます。 ※ハンドルを回すことによりサムターンが元の位置 (施錠状態の位置) となり、このまま扉を閉めると自動的に施錠となります。
	施錠	ハンドルを回す事により、サムターンは初期状態となり、ハンドルを元に戻すと施錠となります。	ハンドルはロックされて扉を開く事ができなくなります。 ※アンチパニック (AENP/AEEP) の場合は、アンチパニック設定側のみハンドル操作により解錠・開扉ができます。

- 注 1. サムターンが斜めになっている状態では、電氣的に施錠できません。
 2. AEN/AENPでは停電時または断線時、電氣的に施錠状態となりますが、機械的には施錠・解錠共に可能です。
 AEE/AENPでは停電時または断線時、電氣的に解錠状態となり、機械的には施錠する事はできません。
 3. 扉を開けた状態でラッチボルトが長く突出している時は、扉を閉める事ができませんので、キーまたは、サムターンを解錠操作後にハンドルでラッチボルトを引っ込めるか、もしくは、上記操作後、ラッチボルトのみを直接押す事でラッチボルトが引っ込みます。その後、扉を閉めてください。

B. 機能操作

- 機能は、発注に合わせて設定されています。必要に応じて切替操作をおこなってください。
- 機能を切り替えるには、電気錠への通電がされていない状態でおこなってください。
- 電気錠制御盤が機能切替後の電気錠を制御できることをご確認ください。

AEE/AEN切替方法

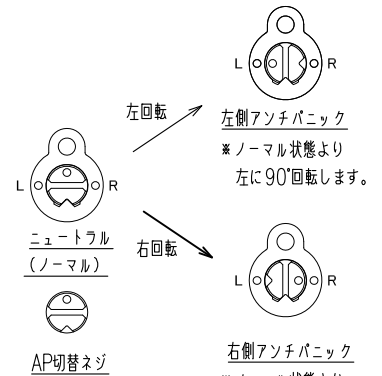
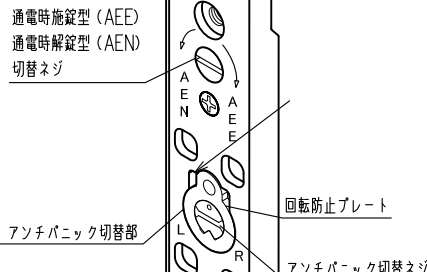


AEE:通電時施錠型

切替ネジを右に回しきってください。
 締付トルク: 1.96N・m (20kgf・cm)
 切替ネジがフロント面より引っ込んだ状態 (奥まった状態) です。

AEN:通電時解錠型

切替ネジを左に回しきってください。
 締付トルク: 1.96N・m (20kgf・cm)
 フロント面より切替ネジ部が面になっている状態です。

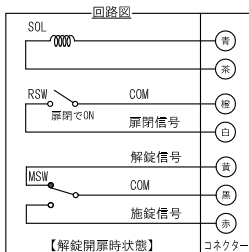


アンチパニック切替方法

- マイナスドライバーを挿入部に差し込み、回転防止プレートを引き出してください。
- 上図のように、AP切替ネジを回転させて設定したい位置に合わせてください。
- 設定後は、回転防止プレートを取り付けてください。

フロントプレート取外し状態

C. 内部回路および電気仕様



電気仕様		
ソレノイド (SOL)	電圧: DC24V (±10%) 電流: 0.2A	錠動作 (解錠・施錠動作)
マイクロスイッチ (MSW)	電圧: DC24V 電流: 0.1A	施解錠信号
リードスイッチ (RSW)	電圧: DC24V 電流: 0.1~0.3A	扉閉閉信号 (扉チリ寸法6mm以内)
リード線	長さ: 250mm (9Pコネクタ付) AWG24 UL1007: 耐熱ビニール電線	
使用温度範囲	-10℃~+50℃ (結露、氷結しないこと)	